

さんわ
三和地区
(新潟県上越市)

- 計 画 期 間 平成 17 年度～平成 21 年度
- 面 積 180 h a
- 交付対象事業費 445.4 百万円
- 市人口 188,382 人

ポイント 豊かな「くらしの環境」と「にぎわいづくり」

地区概要 バリアフリー化した住宅や歩行者空間を整備することで、高齢者及び若者世代が安心して暮らせる環境を整備する。併せて地域交流の場である公園を整備し、世代間の交流、活性化を目指す。

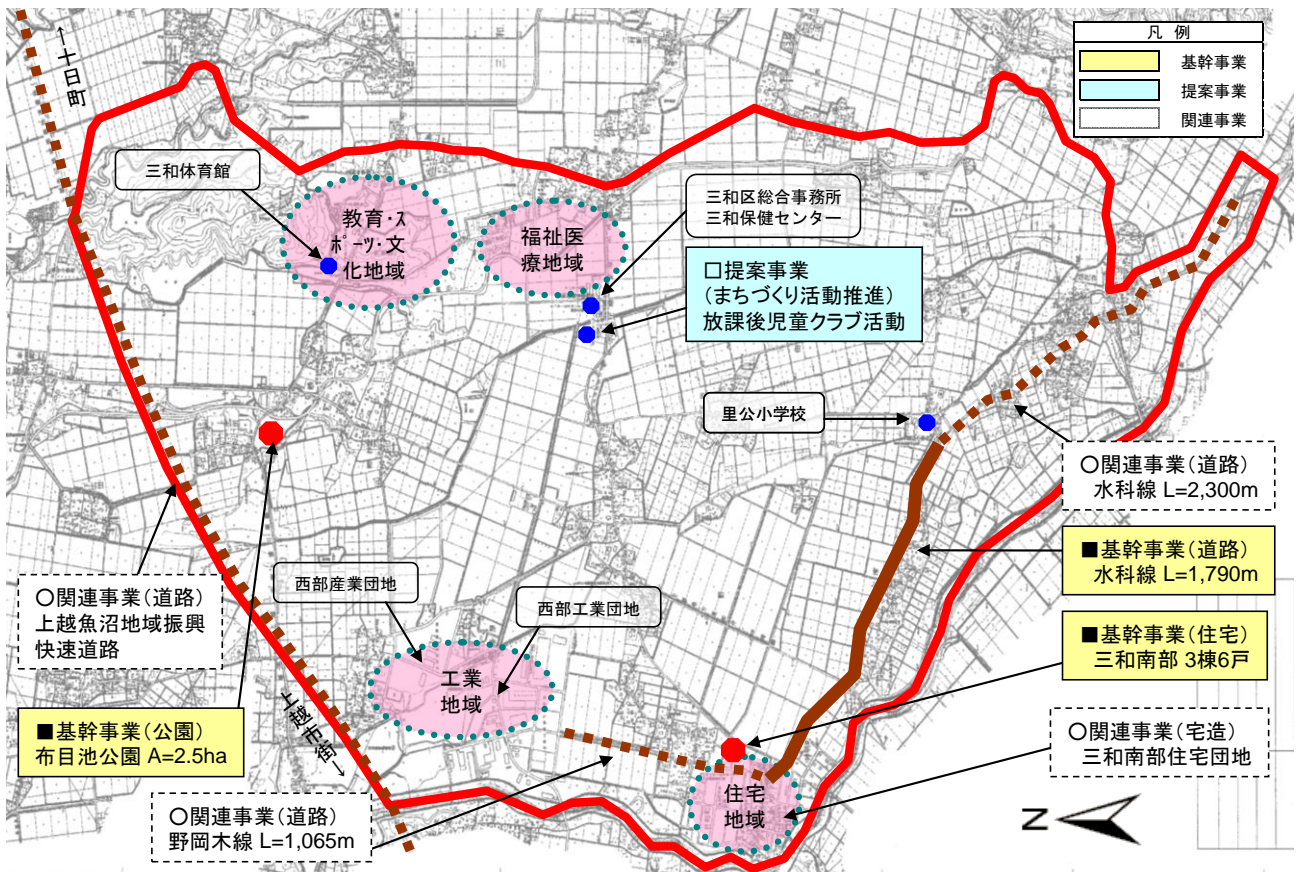
目 標 広域生活圏に対応した道づくり、若者層の流出抑制及び定住促進とにぎわいづくり
スポーツ公園周辺のにぎわいづくり

指 標

- 放課後児童クラブの利用世帯数
- 若年層の流出抑制
- 三和体育館の利用者数
- 通学路の歩道整備率

放課後児童クラブの利用世帯数	10% (H16)	→	13% (H21)
若年層の流出抑制	11% (H16)	→	13% (H21)
三和体育館の利用者数	20,900 人/年 (H16)	→	21,000 人/年 (H21)
通学路の歩道整備率	31% (H16)	→	41% (H21)

事業内容 基幹事業 (445.3 百万円) → 道路 (L=1,790m 幅員 9.50m)
公園 (A=2.5ha) 住宅 (1 棟 2 戸×3 棟)
提案事業 (0.1 百万円) → 放課後児童クラブ活動



地区の現況と課題

- ① 当地区は、新上越市のほぼ中心部であることから、近接する区から日常生活圏となる市街地への通過車両が多いが、歩行者への安全対策等の配慮が遅れており、近隣区から主要県道までの歩車道整備が必要である。
- ② 若年層の減少を少しでも抑制し、更に地域住民との交流や地域文化の伝承を目指すための公園整備を行い、交流人口の増加を目指す必要がある。
- ③ 結婚を機会に新居を区外へ構えることに伴う人口流出を少しでも抑制するために、住宅地の分譲と併せ、若者の年収に見合った賃貸住宅の整備が必要である。

提案事業の特徴

放課後児童クラブ活動

共稼ぎ夫婦の子供に対して、従来から実施している放課後児童クラブ活動よりも活動時間を延長し、通常日の放課後や休日の利用充実を図る。

計画策定プロセス

広域生活圏に対応した道路づくりと若年層の流出防止の観点から住宅の整備を進める。併せて、市民憩いの場の提供を公園整備によって対応する。

市道については、他区と市街地を結ぶ幹線道路を整備することで各方面へのアクセス時間の短縮と歩行者の安全性を目指し、周辺住民からの現状や課題などを詳細に聞き取りをして計画した。

世代間の交流によって地域の発展と持続性を目指した公園整備では、貴重なため池を利用して、遊水地的な公園整備の計画を行った。また、この施設への関心度をより向上させるために、地域による植栽樹の検討をお願いし、更に、完成後における日常の維持管理も可能なように、計画には極力、地域の声を反映させた。

住宅についても、住宅地の分譲と併せ既居住者への維持管理や冬期間における除雪計画のアドバイスや聞き取りから公営住宅の計画設計を行った。



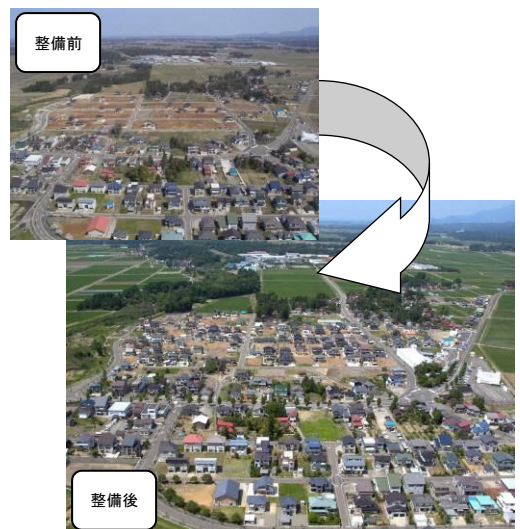
▲整備後の市道水科線



▲遊水地的な布目池公園



▲人気の高い公営住宅



住宅地周辺の整備前後の様子